

第3章

国東、
その未来へ。

国東の未来に待っていること。

1300年以上紡がれてきた

自然・歴史・文化、

そして現代の一步先の新しい価値観。

時代の先端と共に生き、

活力ある里づくりに

取り組んでいます。

この地に昇る朝日は、

国東の未来を照らしています。



～国東の未来を語る～ The ZEN 01



くにさき福祉の里づくり 02



くにさき観光の里づくり 03



くにさき教育の里づくり 04

～ 国東の未来を語る～

The ZEN

国東の未来をつくり出すのは、ここに住まう“人々”。
座禅を組み、心身のバランスを整え、国東の未来について語り合う。

市勢要覧スペシャル企画

祈りの里
特別座禅会



今、国東で 感じること

三河市長／本日は、様々な分野で国東市の第一線で活躍されている皆さんに集まっていたいでいます。よろしくお願ひします。

一同／よろしくお願ひします。

三河市長／現在国東市では、「福祉」「観光」「教育」の三つの里づくりを市政の目標にして政策を行っており、人口の社会増減の数値を見てみると少しずつではありますが、成果がでているのではないかと思います。



岡野／数年前と比べて変わったなと思うことは、移住定住者の方々が増えているということですね。国東に新しい風をふかしてくれているのではない



▲座談会会場:割烹旅館・海喜荘
今回の語り合いの舞台は、「割烹旅館・海喜荘」。大正時代より代々受け継がれてきた国東を代表する割烹旅館。静寂な空間で禅を組み、国東に思いを馳せる。

かなと感じています。私は1度国東を出て、最近戻ってきましたが、移住者の方から国東の良さを聞く機会がたくさんあります。

河野／国東では一人でいろんなバターンの働き方ができるのも、魅力の一つではないかと思ひます。私も国東で七島イ工藝士や司会業、そして家族と一緒に野菜の生産などもしています。あと、変な言い方かもしれませんが、国東に来る人たちは、

呼ばれて来てるんじゃないかなと思ったりもします。

古原／国東はとても居心地のよい場所ですね。住んでいると落ち着きます。

河野／皆楽しそうですし、私も楽しく暮らしていますよ。

三河市長／良いですね。そんな皆さんの暮らし。我々も移住者の方からいろんなヒントをもらっています。



三河明史市長



河野恵美さん(七島工芸士)



秋吉文暢さん(文殊仙寺住職)



岡野望美さん(女性起業家)



古原絵梨さん(保育教諭)

～国東の未来を語る～

The ZEN

多様な価値観 受け入れる国東へ

秋吉／先ほど「呼ばれて来てるんじゃないか」と言われていましたが、たぶん、使命感みたいなものが大きいのではないかと思います。

岡野／起業家はそう

ですね。何か問題解決したい

とか役に立ちたいとか、

お金儲けだ

けでなく少し

でも世の中を

良くしたいという

思いがあります。

秋吉／私も自分がやらないとい

けないな、という使命感を優先してやって

いたら今に至りました。私はUター

ン組ですが、帰ってきたときは、観光客

数が一番落ちていた直後でした。しか

し、まちの人たちと一緒に様々な活動

を続け、平成30年の六郷満山開山13



未来を担う 国東の子どもたち

00年は大成功に終わりました。私が一番に思うことは、「まずは取り組んでみる」ということです。これから求められているのは、多様性だと感じています。お寺もそうです。河野さんのように伝統工芸も司会業も農業もされて

いるような、多様性を持つ

た人たちが受け入れ

られる国東市に

今後なっていく

のではないかと

と思います。

二岡／そうで

すね。

三河市長／福祉分野についてはいかがですか。

古原／私は保育教諭をしています、

ここ数年で子育てに関する政策も大き

く変わってきていて、実感することは多

いです。園の保護者の方々からも評判



を耳にすることがよくあります。私自身も子育て中ですが、国東は子育てに良い環境が整っていると感じています。

三河市長／そうですね。子育てには教育も関わってくるかと思えます。その点に関してはいかがですか。

秋吉／義務教育学校、素晴らしいと思いますよ。

河野／先日、地元の高校へ取材に行ったとき、生徒さんになぜこの高校に入ったのかを聞いてみたら、「国東にしかない



七島イに興味があつて、授業で関われるから入った」と言っていました。卒業後は農学系の大学に進学したいそうですが、そんな子たちが国東に帰ってきたくなるような国東にしてあげないといけないなと思いました。

三河市長／義務教育学校をつくる時に「グローバルに活躍できる人材の基礎をつくりたい」と言ったところ、子どもが出ていくのではないかという声もありました。しかし、出て行った子がノーベル賞をとったら国東の誇りになります。無理に戻ってきなさいというのではなく、国東出身の子どもたちが世界で頑張ってもらつても嬉しいし、国東に残つてくれたらなおさら嬉しいですね。

国東で夢を語る

古原／国東は仏の里と言われて、拝むことが習慣になっています。私の祖母も近所のお寺に毎日お参りしています。そういった姿を子どもたちにも伝えていき

いですし、文化を守りながらも新しいことにチャレンジしやすいまちであつてほしいです。地域のつながりも強いので、みんなでそういった人たちを応援しているし、私も保護者の方々に、ここで子育てして良かったと思つてもらえるよう、支援していきたいと思っています。

岡野／私、実は戻ってくるまで田舎が嫌いだつたんです。でも、戻ってきてから色々な方々と触れ合うようになって、今すぐく国東のことが好きです。ネットやSNSのおかげで、どこからでも情報を発信できる時代になりました。「国東の自然の中で最先端の仕事をする」、そんな



仕事を創つていきたいと思ひます。

河野／私は色々なことをさせてもらつていますが、色んなものを繋げて国東のPRになればと思つています。国東にはあんな元気な楽しい人がいるのだと、住んだら面白いかもと思つてもらえるよう、これからも頑張ります。

秋吉／文化財を所有する立場、重要な六郷満山の文化という立場から、自分たちも今変わらないといけない時期に来ているのは間違いないと感じています。日本の現状からみても、国東の少子高齢化、過疎化は事実です。その中で、良い意味で最先端を走ってもらいたいと思つています。

三河市長／座右の銘という訳ではないのですが、私は「ダメもと」といつも思つていて、うまくいけば儲けものだし、やってみ



てダメならもう少し工夫してやろうと、そういう取り組みをすることが大事だと考えています。先ほど話していたように、出て行つても戻つてきてもらえる国東に、お年寄りと一緒に子どもたちが元気で笑つて暮らせる国東をこれからもつくっていききたいと思つています。皆さん本日はありがとうございました。

同／ありがとうございました。

■ 市政の目標

くにさき福祉の 里づくり

安心して暮らせるまちづくり

「いつまでも元気で、健やかに暮らしていきたい」「たとえ医療や介護が必要になっても、住み慣れた自宅・地域で暮らしたい」。そんな市民の思いを大切に、医療・介護・予防・保健・福祉・住まい・生活支援のそれぞれを有機的に提供できる地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいます。障がい者福祉の面では、地域の中で安心して日常生活や社会生活を

送れるよう、障がい者や障がい児との共生を目指す「障害者総合支援法」の理念実現に向けて取り組んでいます。また、住民主体の体操教室や地域での支え合いによる健康寿命の延伸などの他、医療介護連携の強化や、認知症の人とその家族を支援する取り組みなどを進めることにより、地域で安心して暮らせるまちづくりを目指しています。

お互いを支え合える未来を目指して



放課後等デイサービス

支援が必要な学齢期児童が放課後や学校休業日に通う、療育機能・居場所機能を備えた福祉サービス。



地域支え合い活動

日常の「困りごと」を解消できるよう、地域や社会福祉協議会と連携し、支え合いに取り組んでいます。



子どもの遊び場開放

未就学児童の親子に遊び場を提供。「児童室」は、日曜日でも親子連れて遊ぶよう開放しています。

■市政の目標

くにさき観光の 里づくり

観光による産業の振興

「国東半島宇佐地域 世界農業遺産」や「日本風景街道登録」の認定に続き、「鬼が仏になった里『くにさき』」の日本遺産認定や「文殊耶馬」の国名勝指定など、本市の歴史や資源が開花し、今後の観光振興においても期待が高まっています。観光は幅広い産業に経済効果をもたらし、多くの雇用を生み出すことから、国も観光立国に向けた取り組みを行っています。本市も国東固

有の地域資源を活用した新たな着地型観光、旅行商品の造成やサイクルツーリズムの推進による交流人口の増加、地域経済の活性化に向けて取り組みを強化しています。今後も、より需要が高まるインバウンド対策や、大分県の空の玄関を有するメッセの最大限活用、海・山の幸を堪能できる食を通じた観光など、「国東」のブランド化を進めていきます。



国東にふさわしい観光施策を構築



食をPRするグルメイベント

豊富な特産品の中から、地元ナンバーワンの特産品グルメを決定する食の祭典を開催しています。



国東おだやか博

国東ならではの「おだやかさ」に触れる体験型プログラムで、暮らしやおもてなしの心を体感できます。



空の玄関口「大分空港」

「空港のあるまち」を情報発信し、大分空港を拠点とした市内観光地への周遊を図ります。

国東、その未来へ
くにさきの
里づくり



■ 市政の目標

くにさき教育の 里づくり

学力の向上と教育環境整備

より質の高い教育の創造を目指し、グローバルに活躍できる人材育成に向けて、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む学校教育を推進しています。また、「国東市学校・園教育環境整備計画」の指針に基づいた教育環境の整備を進め、義務教育学校の創設、学校施設整備や学校環境の改善に取り組んでいます。地域との連携による学習支援の推進では、少子

化や核家族化、地域の高齢化など子どもを取り巻く環境が大きく変化する中で、学校や家庭、地域社会が連携してネットワークをつくり、「協働」して子育てを行っています。「協育ネットワーク事業」に取り組んでいます。「学校支援」放課後子ども教室「放課後学びの教室」を柱に市内全域で事業を推進し、地域総ぐるみによる子育てを行っています。



地域ぐるみで「生きる力」を育む教育を推進



義務教育学校の建設

一貫性のある教育を推進し、人間性・社会性豊かな児童・生徒を育成する特色ある教育を目指しています。



障がい者の生涯学習

障がい者に対して、作品づくりのワークショップや文化体験、発表の場づくりを行っています。



全小・中学校
コミュニティスクール推進

学校と地域住民・保護者が力を合わせ、学校の運営に取り組む制度を全小・中学校に導入しています。

information

国東市へのアクセス



空から国東市へ

- 東京(羽田空港) 約1時間30分
- 東京(成田空港) 約2時間
- 大阪(伊丹空港) 約55分
- 名古屋(中部国際空港セントレア) 約1時間10分

国東市
(大分空港)

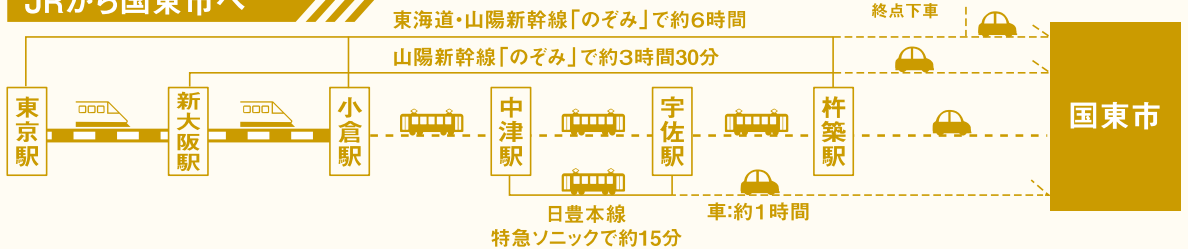
海から国東市へ

- 山口県周南市(徳山港) 約2時間
- 姫島村 約20分

国東市
(国見町竹田津港)

国東市
(国見町伊美港)

JRから国東市へ



車で国東市へ

- 宇佐市 県道29号経由 約55分
- 中津市 県道29号経由 約1時間20分
- 大分市 東九州自動車道経由 約1時間10分
- 別府市 大分空港道路経由 約1時間
- 由布市湯布院町 大分空港道路経由 約1時間10分
- 福岡市 大分自動車道経由 約2時間30分



国の一歩、その東へ。

2020 国東市 市勢要覧

発行：大分県国東市

〒873-0503

大分県国東市国東町鶴川149番地

TEL:0978-72-1111(代)

FAX:0978-72-1822

<https://www.city.kunisaki.oita.jp/>